

表3-12 現在実施している管理手法のポイント

管理手法 (ポイント)	タイプ	内 容
4	特殊	完全密閉又は専門家の提言に基づく対策の実施、湿式工法
3	封じ込め	密閉対策（少量の漏れがある）の実施
2	工学的対策	局所排気装置の設置、部分密閉等
1	全体換気	全体換気設備の設置
0	対策なし	保護具着用、保護具の着用なし

### 3 リスクの優先度の設定

表3-13 リスクの優先度

リスク	点数 (リスクポイント)	優先度
高	4	直ちに対応すべきリスクがある
中	2又は3	速やかに対応すべきリスクがある
低	1以下	必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある

#### 留意事項

決定された優先度に基づきリスク低減措置案を検討する際には、③で求められた望ましい管理手法のポイントと同じポイントを示す表3-12のタイプによる対策を実施することが望ましいと考えます。

例1：有害性のレベル：B 予想ばく露量：EP2 全体換気のみ実施中：1の場合  
 望ましい管理手法のポイント：3  
 現在実施している管理手法のポイント：1  
 リスクポイント = 3 - 1 = 2                      リスク：中

例2：有害性のレベル：C 予想ばく露量：EP3 対策の実施なし：0の場合、  
 望ましい管理手法のポイント：3  
 現在実施している管理手法のポイント：0  
 リスクポイント = 3 - 0 = 3                      リスク：中